

令和7年12月15日  
国土交通省関東地方整備局  
大宮国道事務所

## 工事発注手続きについて

～「R7国道17号新大宮上尾道路三橋地区改良他工事」の発注手続きを行います～

大宮国道事務所が発注する「R7国道17号新大宮上尾道路三橋地区改良他工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7国道17号新大宮上尾道路三橋地区改良他工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

### 【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 難工事指定
3. 間接工事費実績変更方式
4. 余裕期間制度（任意着手方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 大宮国道事務所

電話：048-669-1200（代表） メールアドレス：ktr-oomiya-koho01@mlit.go.jp

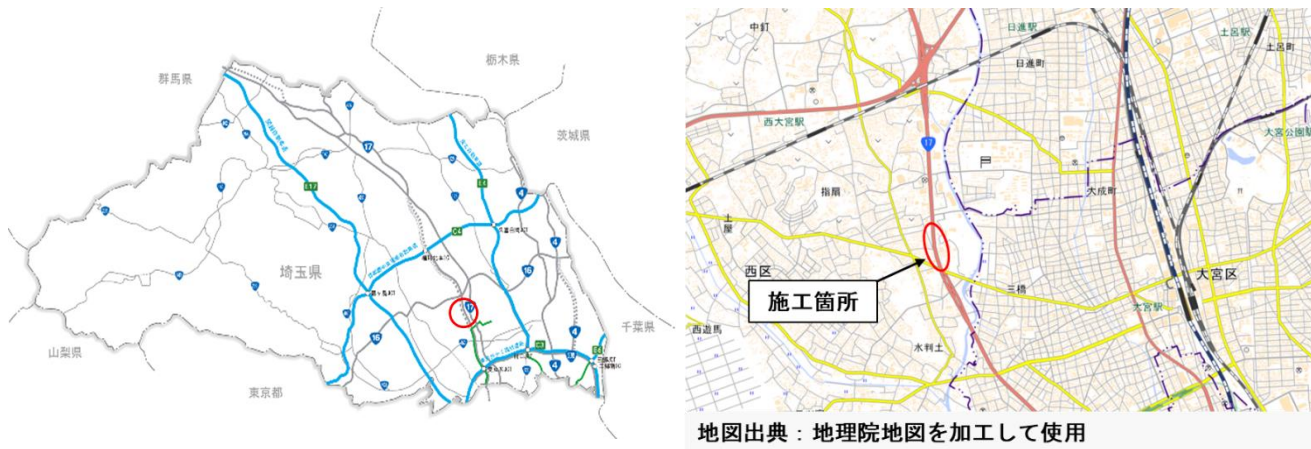
副所長（技術） 香田（こうだ）（内線：204）

工務課長 久保（くぼ）（内線：411）

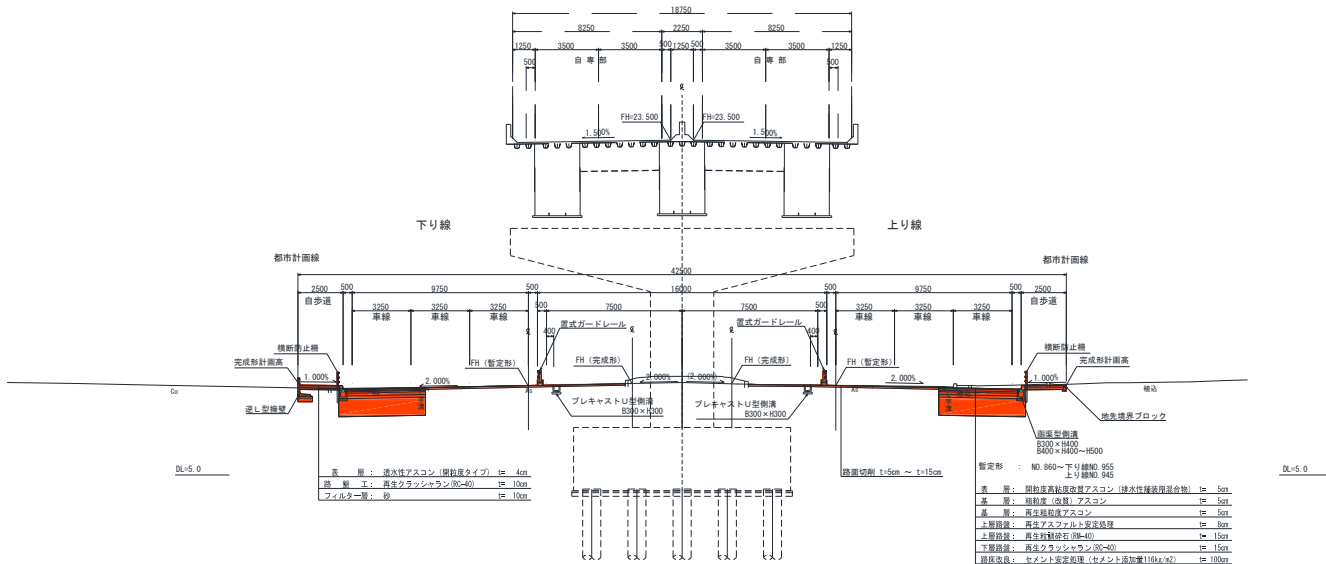
# 《工事概要》

- (1) 工 事 名：R7 国道17号新大宮上尾道路三橋地区改良他工事
- (2) 工事場所：埼玉県さいたま市西区三橋地先
- (3) 工 期：工事の始期から365日間  
(但し、令和8年4月1日（工事着手期限）までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：維持修繕
- (6) 工事内容（概要）：
- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 道路土工   | 2,200 m <sup>3</sup>  |
| 地盤改良工  | 2,000 m <sup>2</sup>  |
| 舗装工    | 6,500 m <sup>2</sup>  |
| 擁壁工    | 72m、17 m <sup>3</sup> |
| 排水構造物工 | 463m                  |
| 縁石工    | 660m                  |
| 防護柵工   | 836m                  |
| 区画線工   | 1 式                   |
| 構造物撤去工 | 1 式                   |
| 応急処理工  | 1 式                   |
| 仮設工    | 1 式                   |

## ■工事概要図



標準横断図



## 《不調・不落対策等》

### 1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。  
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

### 2. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道17号新大宮バイパスでの作業となり、交通規制を行いながら車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加算対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

### 3. 間接工事費実績変更方式

○実績により変更を行う工種

・ 共通仮設費（率分）のうち、「運搬費」、「安全費」

○実績により変更を行う理由

工事箇所は、沿道全域に店舗等が連坦し、施工ヤードも現道を規制しながらの狭小な箇所です。

運搬費について、都心部における交通量が多い現道上の工事のため、資機材置き場の確保が困難であり、基地から日々回送が必要となることが想定されます。

また、安全費について、交通量が多い現道上の工事であり、また、人口密集地域のため、協議等により、標示板、保安燈等安全施設類に要する費用が多大となることが想定されます。

以上により、「運搬費」、「安全費」について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、間接工事費実績変更方式を試行します。

### 4. 余裕期間制度（任意着手方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、工事着手期限（令和8年4月1日）の間に、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	： 令和 7 年 1 2 月 1 5 日（月）
○技術資料等の提出期限	： 令和 7 年 1 2 月 2 4 日（水）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	： 令和 8 年 2 月 3 日（火）
○開札日	： 令和 8 年 2 月 6 日（金）

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

